概要版

沼田市立小中学校適正規模・適正配置基本方針

～これからの学校の在り方を描く～

池田実穂「and Run」2020 年制作 木版画

令和６（２０２４）年９月

沼田市教育委員会

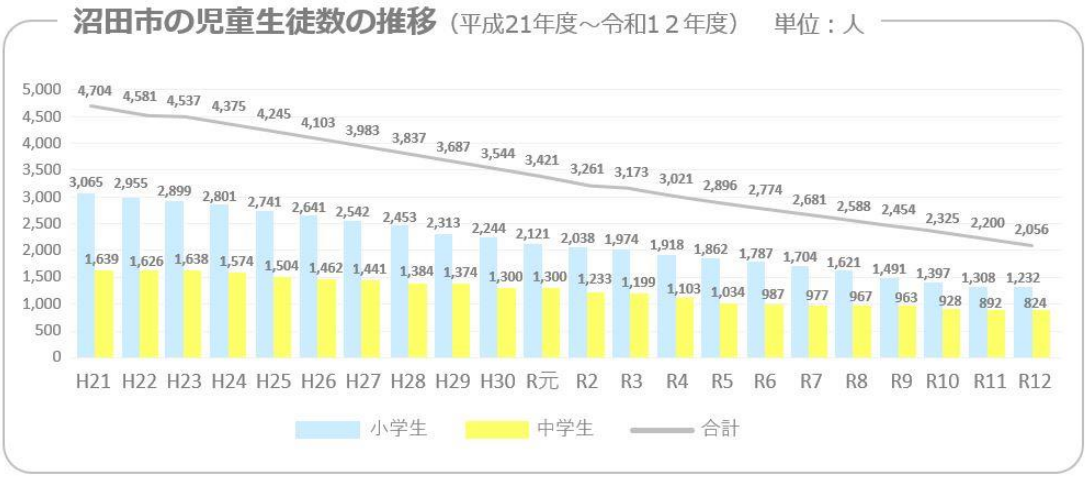
今、なぜ学校の適正規模・適正配置なのか

全国的にも少子化が進み、沼田市においても、令和４年の出生数が２０３人、令和５年では１７４人と、約１５年前と比べて半数以下となっています。現在、本市では、小規模の学校が多くなっており、さらに児童生徒数の減少が進むことが予測されます。

学校は、地域コミュニティの拠点や有事の際の避難所として指定されていることなど、その維持は重要ですが、一方で子供たちにとっては、将来の可能性を広げ、たくましく生きる力を育むための時間を過ごす大切な居場所であります。

この基本方針では、子供たちにとっての学習環境や、友人などとの出会い、学校施設や通学時等の安全など、児童生徒数が減少してもより良い学校教育を実現していくことを最優先とし、適正規模・適正配置の目安などを示します。

沼田市の児童生徒数の推移



平成 21 年度から平成６年度までは実数、令和７年度以降は推計値となります。

沼田市の出生数の推移

※この基本方針は、沼田市教育機関の適正配置及び設置に関する審議会での話合いをもとに作成しています。

豊かな自然、魅力ある地域資源を生かした様々な体験
友達やそして地域にいる多くの人との触れ合いを通じて
豊かな心や挑戦する心を育み
沼田市の未来を担う子供たちの可能性を伸ばすことのできる環境を守っていきたい。
（答申書より抜粋）

学校再編の検討方針や統廃合の時期について

学校再編の検討は、令和６年４月１日までの出生数から、小学校は令和１２年度、中学校は令和１８年度までの児童生徒数の推計を参考に適正規模を考えます。また、小規模学校を継続する場合には、地域の特色を生かした教育課程の編成や学校の“新しいかたち”を検討するなど、「より良い学びのかたち」に着目していきます。

学校統廃合の具体的な実施計画案は、おおむね令和７年度から１８年度までのものとし、人口推計や社会状況の変化により、定期的に見直します。

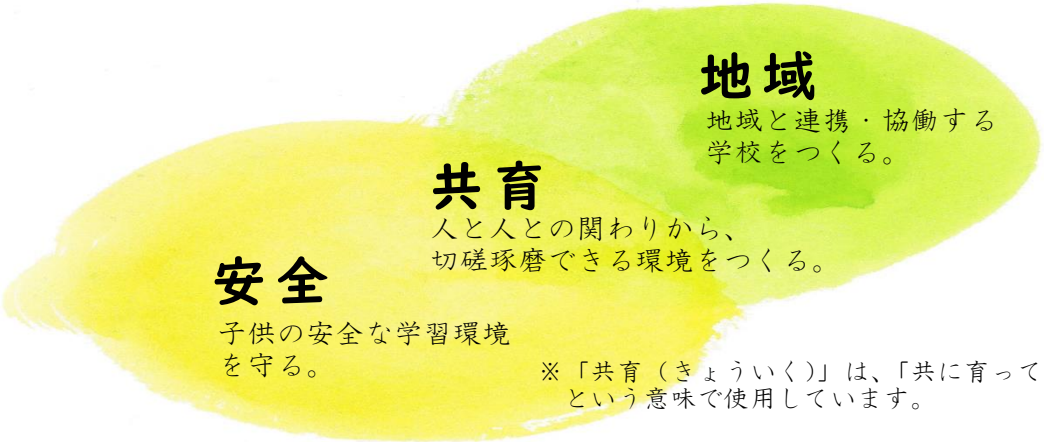
学校再編では、保護者をはじめ地域住民との話合いを大切にします

一律に統廃合を前提に検討することなく、保護者や地域住民の学校に対する思いに配慮しながら話合いを進めます。

まずは、生活圏に合わせ、旧沼田町、利南地区、池田地区、薄根地区、川田地区、白沢地区、利根地区の７ブロックに分かれて話合いから始め、その後、各エリアの児童生徒数の状況により、地域住民を集めた意見交換の場へとつなげていきたいと考えます。

沼田市らしさを生かした学びの“かたち”を目指して

学校は、子供たちが豊かな人生を送ることができるよう、その基礎となる力を培うための大切な場所です。沼田市の雄大な自然のもと、子供たちが豊かな心を育み、人の温かさに触れながらたくましく成長していくため、“沼田市でしかできない学び”についても考えていきます。



※「共育（きょういく）」は、「共に育っていく」という意味で使用しています。

地域とともにある学校

友達や地域との関わりなど、より切磋琢磨できる環境をつくる。

多くのものに触れ、様々な経験をすることで、広い視野を身に付け、子供の可能性を伸ばす環境をつくる。

社会性を育む学校

沼田市の良さを生かした体験学習の機会を広げ、郷土愛を育む。

広く地域と連携･協働し、ふるさとで学び、育てる環境をつくる。

学校の適正規模（学級数など）について

学校教育法施行規則によると、小学校・中学校の学級数は、１２学級以上１８学級以下を標準とし、地域の実態その他により特別の事情があるときは、この限りでないとされています。

通学区域が広大な本市においては、子供の成長段階を考慮し、まずは適正配置（通学時間等）に配慮した上で、適正規模化に努めるものとします。

（１）国（学校教育法施行規則　第 41 条、第 79 条）

	小学校	中学校
１校当たりの学級数	12～18 学級	12～18 学級

（２）沼田市における適正規模

１学年当たりの学級数について、複数学級（２クラス以上）が望ましいことから、１校当たりは以下のとおりとする。

	小学校	中学校
１校当たりの学級数	12 学級以上	6 学級以上

学校の適正配置（通学時間など）について

本市の地理的な状況を考慮するとともに、スクールバス等の活用など安全面の確保に配慮します。

なお、本市では、子供の成長段階を踏まえ、小学校では長時間の通学による負担等を避けるように努めるものとします。

	国（通学距離と時間）	沼田市
小学校	「おおむね４㎞以内」とし、適切な交通手段を確保するなどして、「おおむね１時間以内」が目安	「おおむね 45 分以内」に通学できる範囲が望ましい。 （スクールバスや自転車通学等全ての通学方法による） ※小学校では、長時間の通学を避けるように努める。 ※距離の目安は定めない。
中学校	「おおむね６㎞以内」とし、適切な交通手段を確保するなどして、「おおむね１時間以内」が目安	

※国の基準は、「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律」及び「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（平成 27 年 1 月 27 日文部科学省）」による

適正規模・適正配置の目安から学校の統廃合を考える

まずは、適正規模及び適正配置の観点から、以下の方針により検討を始めます。

主に７つの地区に分けて検討します。
① 旧沼田町、②利南、③池田、④薄根、⑤川田、⑥白沢、⑦利根

小学校について

適正規模に関わらず、原則、各地区に1校を配置する。

※理由　①小学校では長時間に及ぶスクールバス通学等を避けるため
　　②成長段階を考慮し、地域で子供を育てる環境を重視するため

令和１２年度に推定される学級数を**適正規模の目安（12 学級以上）**に照らし合わせて考えます。

■地区の合計学級数が適正規模の目安以上・・・原則２校まで配置できる。
■地区の合計学級数が適正規模の目安未満・・・原則１校を配置する。

中学校について

適正規模及び適正配置の目安から、原則統廃合を検討する。

令和１８年度に推定される学級数を**適正規模の目安（6 学級以上）**に照らし合わせて考えます。

■地区の合計学級数が適正規模の目安以上・・・原則１校まで配置できる。
■地区の合計学級数が適正規模の目安未満・・・適正配置の目安により統廃合を検討。

共通事項

著しく児童生徒数が減少する学校については、早急に統廃合を検討する。

※この場合、地域（PTA 組織、各振興協議会や区長会支部など）と意見交換を進めます。

その他

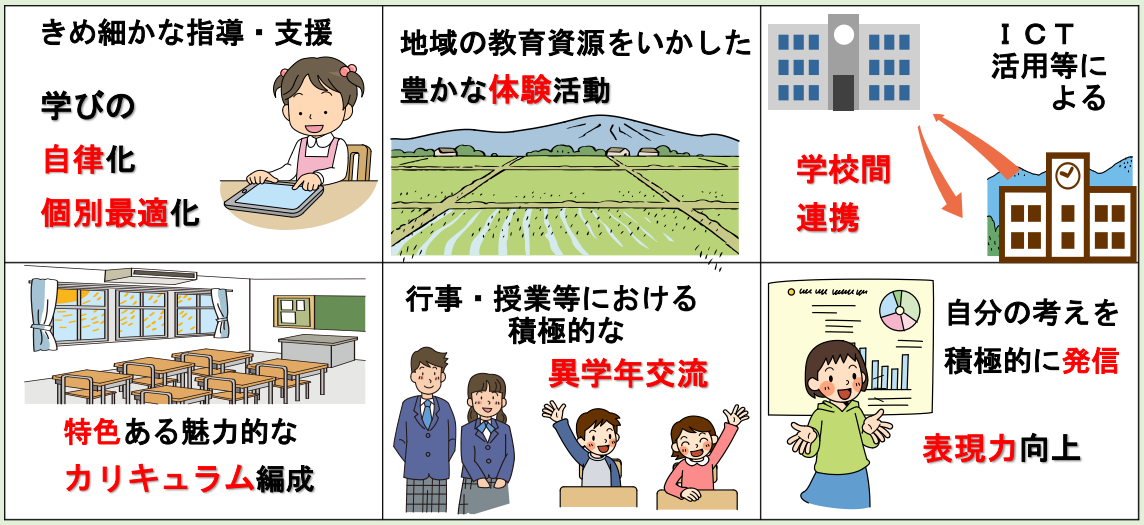
適正規模、小規模校に関わらず、その特色を最大限生かすための検討を図る。

適正規模の学校では

児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人一人の資質や能力を伸ばしていきます。

小規模校・義務教育学校などでは

一人一人が活躍する機会が多く、体験活動や異学年交流、きめ細かな指導・支援の充実、保護者や地域との連携により、児童生徒の可能性を最大限に引き出します。



学校別の児童生徒数等の推移

令和６年４月１日までの出生数からみた、小学校は令和１２年度、中学校は令和１８年度の児童生徒数の推計です。
以下の学級数については、複式学級を考慮しています。

小学校	令和6年度		令和12年度		令和6年度との比較	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
沼田小学校	272	12	204	8	▲68	▲4
沼田東小学校	229	10	146	7	▲83	▲3
沼田北小学校	222	10	194	8	▲28	▲2
升形小学校	181	7	130	6	▲51	▲1
利南東小学校	215	9	163	7	▲52	▲2
池田小学校	53	5	44	4	▲9	▲1
薄根小学校	269	12	128	6	▲141	▲6
川田小学校	95	6	65	6	▲30	－
白沢小学校	154	6	99	6	▲55	－
利根小学校	74	5	43	4	▲31	▲1
多那小学校	23	4	16	3	▲7	▲1
計	**1,787**	**86**	**1,232**	**65**	**▲555**	**▲21**

中学校	令和6年度		令和18年度		令和6年度との比較	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
沼田中学校	249	9	155	6	▲94	▲3
沼田南中学校	159	6	106	4	▲53	▲2
沼田西中学校	124	5	78	3	▲46	▲2
沼田東中学校	108	5	81	3	▲27	▲2
池田中学校	52	3	21	3	▲31	－
薄根中学校	159	6	49	3	▲110	▲3
白沢中学校	85	3	44	3	▲41	－
利根中学校	37	3	23	3	▲14	－
多那中学校	14	3	8	2	▲6	▲1
計	**987**	**43**	**565**	**30**	**▲422**	**▲13**

表紙作者のご紹介「ヌマタ・アート・アンバサダー池田実穂さん」

利根郡月夜野町（現みなかみ町）で出生、群馬県立沼田女子高等学校を卒業後、東京学芸大学教育学部小学校教員養成課程美術科及び同大学大学院教育学研究科美術教育専攻で美術を学ばれた後、平成 16 年にイタリアのカッラーラ美術学院彫刻科に入学、以後木版画の創作活動を始められました。

池田さんの作品は、自然と人間の普遍的な尊さをテーマとしており、沼田市の子供たちに生きる希望をプレゼントできるよう２０２０年制作の「and Run」で表紙を飾っています。